《財政特集》平成17年度　予算のあらまし

市民とともに歩む予算

問 財政課

平成17年度の一般会計予算の特徴は、地域を重視し、地域とともに問題解決を図る「市民とともに歩む予算」で、予算額は307億700万円となりました。前年度の特殊事情を除いた実質的な予算と比べ、金額で１億1600万円、率で0.4%の増となり、３年連続の増額予算となっています。なお、予算の総額は、一般会計と４特別会計を合わせて、506億9159万円で対前年度比は2.6%の減となります。

平成17年度一般会計予算

平成17年度一般会計予算は307億700万円で前年度と比較して、6・1%の減となっています。大幅な減額となっているのは、平成16年度の予算規模が、平成7年度および平成8年度に借り入れた減税補てん債（20億9900万円）を借換える（同額を償還し借り入れる）ために膨らんだことによります。この特殊事情を差し引いた場合、金額で1億1600万円、率で0・4%の増となっています。

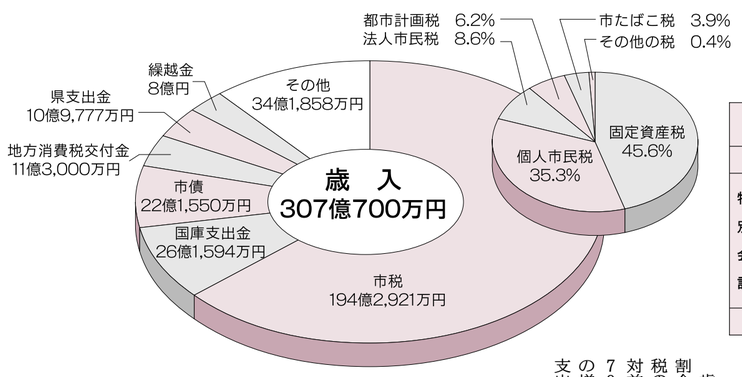
歳入

歳入のうち、最も大きな割合を占めているのが、市税の194億2921万円です。対前年度比は金額で7億2797万円、率では3・9%の増となります。次は国庫支出金の26億1594万円で、対前年度比は金額で1億4678万円、率では5・9%増となります。

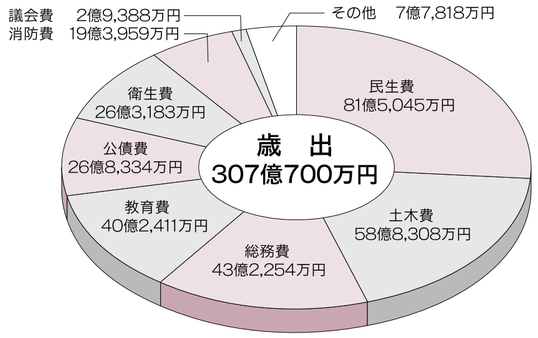
歳出

歳出予算を目的別に見ると、一番大きな割合を占めているのが民生費の81億5045万円で対前年度比は金額で5億9429万円、率では7・9%の増となります。生活保護費、障害者福祉費などの増が見込まれるほか、国民健康保険事業等への繰出金が増加しているためです。2番目が土木費の58億8308万円で、対前年度比、3億904万円、4・9%減となっています。これは、海老名駅周辺整備事業費の減や伊勢山自然公園整備事業の終了などによるものです。

平成17年度一般会計



市税の内訳



平成17年度　各会計別予算

【単位：万円】

会計名		平成17年度当初予算額	平成16年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		3,070,700	3,269,000	△198,300	△6.1%
特別会計	国民健康保険事業	874,714	844,788	29,926	3.5
	下水道事業	318,081	292,597	25,484	8.7
	老人保健医療事業	461,425	473,220	△11,795	△2.5
	介護保険事業	344,239	323,685	20,554	6.4
	小計	1,998,459	1,934,290	64,169	3.3
合計		5,069,159	5,203,290	△134,131	△2.6

市民ひとりあたりの予算の使いみち

247,773円です

民生費（26.5%）	社会福祉や児童福祉など社会生活保障に	65,766円
土木費（19.2%）	道路や河川、区画整理などに	47,470円
総務費（14.1%）	行政の運営に	34,878円
教育費（13.1%）	小中学校や生涯学習に	32,470円
公債費（8.7%）	市債の元金や利子の償還に	21,652円
衛生費（8.6%）	予防注射やごみ処理などの保健衛生に	21,236円
消防費（6.3%）	防災など市民の安全・安心に	15,651円
議会費（1.0%）	議会の運営などに	2,371円
その他（2.5%）	商工業や農業・園芸の振興などに	6,279円

※平成17年１月１日現在の人口123,932人で算出。また、割合は小数点第２位以下四捨五入で算出。

平成17年度を「防災・防犯・交通安全の年」として、防災・防犯などに重点的に取り組みます。

また、包括予算制度（※）を導入し、既存事業の徹底した見直しを行うなど、歳出の抑制による「緊縮型予算」を編成し、財政健全化路線を継続して行きます。

※包括予算制度…各部に予算編成を任せる経費を大幅に拡大する制度です。これにより、市民と直接対応している各部が、市民の声を受け止め、真に必要な事業に予算を重点的に配分できます。

主な事業の概要

【電子入札システムの開発】

電子入札の本格導入を目指し、電子入札システムの開発を行い、平成18年度の試行実施に向け、準備を行います。

【安全･安心なまちづくりへの取り組み】

防災行政広報無線情報、不審者情報、学校から保護者への緊急連絡などを、希望する市民に対してメールで配信します。

【自転車駐車場の整備】

利用率の高い無料自転車駐車場の拡張整備を行い、利用者の利便性向上を図ります。

【地域福祉の推進】

福祉コミュニティづくりに向けた施策を実施し、地域福祉の推進を図ります。

【緊急通報装置の設置】

障害者だけの世帯に、ボタンを押すだけで消防署や協力員に連絡がとれる緊急通報装置を設置します。

【保育所の保育時間延長】

土曜日の保育時間を午後５時まで延長します。

【社会福祉施設整備費の助成】

介護老人福祉施設整備に対して助成を行い、施設整備の促進を図ります。

【ごみ削減に向けた取り組み】

資源分別回収事業を継続し、ごみの減量化・資源化の促進を図ります。

【道路整備の充実】

市南部と中心市街地を結び、市の骨格を成す道路として、（仮称）南伸道路を整備します。

また、交通渋滞解消等のため、道路網の整備を図ります。

【土地区画整理事業への取り組み】

土地区画整理事業に対して補助を行い、公共施設の整備改善や、良好な市街地形成を図ります。

【市営住宅の大規模改造】

市営国分北三丁目住宅Ａ棟にエレベーターを設置し、バリアフリー化を図ります。

【防災行政無線のデジタル化】

防災行政無線をデジタル方式に再整備し、緊急性の高い情報等を正確・迅速に提供できるようにします。

【小中学校の耐震補強への取り組み】

市内小中学校の校舎や体育館のうち、耐震補強が必要な全ての施設について、平成19年度までの３カ年で耐震補強工事を完了させます。

【東柏ケ谷小学校の増改築】

児童数増加による教室不足および児童の安全確保のため、校舎南棟増改築の実施設計を行います。

【相模国分尼寺跡整備】

史跡地の公有化を進めるとともに、歴史公園広場として整備活用基本計画と環境整備計画を策定し、歴史学習の場と憩いの場づくりを進めます。

平成16年度　予算の執行状況－２月28日現在－

平成16年度予算は、前年度からの繰越額と12月補正までを含む２月28日現在で、総額で542億1320万円となります。そのうち一般会計は344億4493万円です。

歳入の執行率は、75・7%です。国・県支出金および市債の執行率が低いのは、対象となる事業の完了した後に交付等がされるためです。

歳出の執行率は69・6%です。土木費の執行率が低いのは、工事の完了や用地取得の時期が年度末になるものが多いためです。公債費は、年２回の償還の後期分が３月になるため、執行率が低くなっています。

なお、一会計年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、２月28日現在ありません。

［歳　入］　（単位：万円）

款	予算現額	収入済額	執行率
市税	1,902,068	1,830,527	96.2%
地方譲与税	48,100	32,643	67.9
交付金等	225,420	194,046	86.1
地方交付税	10,000	127	1.3
分担金及び負担金	33,162	23,500	70.9
使用料及び手数料	46,831	39,079	83.4
国庫支出金	266,000	158,483	59.6
県支出金	103,237	53,827	52.1
財産収入	4,752	9,842	207.1
寄附金	1,044	907	86.9
繰入金	59,238	12,045	20.3
繰越金	213,889	213,889	100.0
諸収入	65,302	30,502	46.7
市債	465,450	8,100	1.7
合計	3,444,493	2,607,517	75.7

［歳　出］　（単位：万円）

款	予算現額	支出済額	執行率
議会費	29,199	26,908	92.2%
総務費	435,684	329,560	75.6
民生費	774,044	688,399	88.9
衛生費	288,223	248,406	86.2
労働費	24,769	22,325	90.1
農林水産業費	24,946	20,493	82.1
商工費	33,158	29,931	90.3
土木費	774,210	417,697	54.0
消防費	168,886	146,886	87.0
教育費	391,110	324,907	83.1
公債費	494,712	138,348	28.0
諸支出金	350	0	0.0
予備費	2,374	0	0.0
災害復旧費	2,828	2,147	75.9
合計	3,444,493	2,396,007	69.6

［特別会計］　（単位：万円）

会計名	予算現額 A	歳入 収入済額 B	歳入 執行率 B/A	歳出 支出済額 C	歳出 執行率 C/A
国民健康保険事業	871,185	710,738	81.6%	709,118	81.4%
下水道事業	292,597	205,998	70.4	168,328	57.5
老人保健医療事業	482,917	411,587	85.2	393,399	81.5
介護保険事業	330,127	255,498	77.4	251,863	76.3
合計	1,976,826	1,583,821	80.1	1,522,708	77.0

財産などの状況

―２月28日現在―

［市債の現在高］　（単位：万円）

会計	区分	現在高
一般会計	総務債	394,424
	民生債	44,098
	衛生債	83,937
	土木債	777,112
	消防債	33,467
	教育債	295,779
	住民税等減税補てん債	471,133
	臨時財政対策債	248,050
	合計	2,348,000
特別会計	国民健康保険事業	
	保険財政自立支援貸付金	11,700
	下水道事業	
	公共下水道債	1,409,768
	地域下水道債	276,045
	小計	1,685,813
	合計	1,697,513

［基金の状況］　（単位：万円）

基金名	現在高	備考
財政調整基金	161,207	現金
庁舎等維持管理基金	200,020	〃
土地開発基金	7,027	〃
	18,166	土地
まごころ基金	5,539	現金
駅周辺整備基金	167,931	〃
みどり基金	494	〃
市営住宅建設基金	22,196	現金・債券
奨学金基金	11,084	〃
国民健康保険財政調整基金	685	現金
介護保険給付費準備基金	20,952	〃

［市有財産］　（単位：㎡）

区分		土地	建物
行政財産	市庁舎	17,022	15,878
	消防施設	12,713	5,486
	学校	342,139	116,287
	公営住宅	18,478	4,535
	保育園	9,232	2,258
	児童館	2,044	580
	公民館	0	1,866
	公園	354,786	21,004
	その他の施設	159,432	63,185
	小計	915,846	231,079
普通財産（※）	田	168	0
	畑	4,204	0
	宅地	21,282	0
	雑種地	8,777	0
	その他の地目	4,644	0
	建物	－	459
	小計	39,075	459
合計		954,921	231,538

注）※は建物以外、公薄地目で分類